

漢詩のきまり 確認テスト（絶句・律詩・押韻・対句） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾

組 番 氏名

/100点

本文

① 春暁 孟浩然

春眠不_レ覚_レ暁
処処聞_二啼鳥_一
夜来風雨声
花落知多少

〔書き下し文〕

春眠暁を覚えず
処処啼鳥を聞く
夜来風雨の声
花落つること知る多少ぞ

② 江雪 柳宗元

千山鳥飛絶
万径人踪滅
孤舟蓑笠翁
独釣寒江雪

〔書き下し文〕

千山鳥飛ぶこと絶え
万径人踪滅す
孤舟蓑笠の翁
独り釣る寒江の雪

③ 登鶴鵲楼 王之涣

白日依_レ山尽
黄河入_レ海流
欲_レ窮_二千里目_一
更上一層楼

〔書き下し文〕

白日山に依りて尽き
黄河海に入りて流る
千里の目を窮めんと欲し
更に上る一層の楼

設問

1. 漢詩①「春暁」の形式を、漢字四字で答えよ。
2. 漢詩①「春暁」で押韻している字を、本文中からすべて抜き出せ。
3. 漢詩①「春暁」で、場面が「夜の出来事（風雨の音）」へと転じているのは第何句か。起承転結のどれにあたるかも答えよ。
4. 漢詩①「春暁」の主題（詩の中心となっている心情・内容）として最も適切なものを、次から選べ。
 - ア 戦いに敗れた悲しみ。
 - イ 春の朝の心地よさと、夜の風雨で散った花を惜しむ気持ち。
 - ウ 故郷を離れた旅のさびしさ。

5. 漢詩②「江雪」の形式を、漢字四字で答えよ。
6. 漢詩②「江雪」で押韻している字を、本文中からすべて抜き出せ。
7. 漢詩②「江雪」の書き下し文「独り釣る寒江の雪」を、現代語訳せよ。
8. 漢詩②「江雪」に描かれている情景の説明として最も適当なものを、次から選べ。
 - ア 雪のやんだ後、人々が川辺でにぎやかに漁をしている。
 - イ 鳥も人影も消えた雪景色の中、老人がただ一人小舟で釣りをしている。
 - ウ 春の川辺で、多くの舟が行き交っている。
9. 漢詩③「登鶴鵲楼」の形式を、漢字四字で答えよ。
10. 漢詩③「登鶴鵲楼」で押韻している字を、本文中からすべて抜き出せ。
11. 漢詩③「登鶴鵲楼」の第一句「白日依山尽」と第二句「黄河入海流」は、語の組み立てが互いに対応している。このような二句の関係を何というか。
12. 漢詩③「登鶴鵲楼」の第三句・第四句「千里の目を窮めんと欲し／更に上る一層の楼」を、現代語訳せよ。
13. 漢詩③「登鶴鵲楼」の第三句・第四句は、「もっと遠くまで見ようと思うなら、さらに高い所へ登れ」という内容から、どのような生き方の教えとして読まれることが多いか。簡潔に説明せよ。
14. 「絶句」とは何句から成る漢詩か。また「律詩」は何句から成るか。それぞれ漢数字で答えよ。
15. 一句が五字の漢詩を「五言」、七字の漢詩を何というか。
16. 五言絶句では、原則として第何句の末字で押韻するか。次から選べ。
 - ア 第一句と第二句
 - イ 第二句と第四句
 - ウ すべての句
17. 七言の詩では、偶数句末のほかに、ふつうもう一か所で押韻する。それは第何句の末字か。
18. 絶句の四句は、構成のうえから順に何と呼ばれるか。漢字四字で答えよ。
19. 設問11で答えた関係について、第一句「白日／依／山／尽」に対応する第二句の語を、それぞれ抜き出して組にせよ。
 - 「白日」に対応する語
 - 「依（山に）」に対応する語
 - 「尽」に対応する語
20. 律詩において、対句にすることがきまりとなっている二つの聯（れん）の名を答えよ。
21. 本文の三人の作者は、いずれもある時代に活躍した詩人である。漢詩が最も盛んに作られたこの王朝の名を、漢字一字で答えよ。